**『全国広告業団体連絡会議』に関するアンケート**

**Q１. 『全国広告業団体連絡会議』の開催内容について**

1. **参加することで得られるメリットは何か？**

・各地の団体の細かな活動内容が参考になる。

・広告に関する情報のみならず報道されない各地のNEWSをリアルに聞き取る

ことが出来てこれも参考になる。

・全広連が年に一度全国大会を開催していますが、その内容は別としてJAAA系

団体の現場方が集まって情報交換が出来る唯一の場所である。

・各地の団体とのコミュニケーション（パイプ）があれば、必要に応じて直接連絡を取り情報交換が出来る。

・全国の広告業の状況、取り巻く環境などがリアルで把握できること

・全国の同じ業界のリアル情報(地域の経済動向、成功事例・失敗事例、トピックスなど当協会運営に役立つ事例)が得られること。

・各県の活動内容を参考にしている。特に、講演会実施報告を見て講師選定の参考にしている。

・顔合わせ、名刺交換することにより、直接連絡を取り合える状況が作れる。

・全国各協会の活動内容・スタンスがリアルで聞くことができる

・全国の広告業の皆さんと懇親ができる。JAAAからの情報が得られる。

・全てにおいてメリットは大きいと思います

・各地域の広告市場の動向や取り組みを知る機会となる。

・日本各地の情報が得られる。また、会員交流の場としても有益だと考える。

・各団体の細かな活動内容や工夫された取組が大変勉強になる。

・周年の取組や新規会員募集の方法など、現状の課題案件に対しての大変有益な情報を頂ける。

・連絡会議でお知り合いになった方に直接ご連絡して情報を教えて頂ける

・各エリアの地元情報が、当該エリアに関係する方との会話の際に有用。(会話が盛り上がる、距離感が縮まる）

・他県での広告会社の現状や新しい取り組みなど、知ることができる。

・年に2回東京への出張ができる（東京に行くことによって、普段会えない人に会ったり、見れないものを見たりできる。）

・地方の広告業界は東京等とくらべると販売促進の広告作業が多い。

・４媒体が東京等に比べるとまだ有用な地域特性のエリアが多いが、それでもデジタル化やその他の変革はじわじわと迫っている。

・広告会社の事業領域にデザイン事務所やデジタル系ハウスが入ってきている。そのようななか、まだまだ東京や他地域の広告業界に学ぶところは多い。

・講師派遣のほか、業界横断的な改革についての支援など

・各地域の協会での取り組みが聞け、我々も参考となると感じています。

・我々の取り組みを機会があれば取り入れたいといった事例もあることから、大変に意義のある連絡会と認識しております。

・他地域の動向と取組

・他の地区の活動を教えていただくのは大変参考になります。

・他地区の現状（生の声）を聴ける、生身の人間に会える喜び。

・各協会さんの取り組みやエリア情報を聞くことが出来ること、各協会さんとのパイプが出来たこと。

・各地方のメディア状況・他県の協会の取組み状況を知ることが

できます。

・賛助会員募集に関して各協会の皆さまに状況確認や募集・運営方法等をヒアリングさせていただき、非常に参考になりました。

・各県協会の皆さまとの交流もできるため、メリットは多いと思います。

・各協会の取組や活動については参考になる事例について取り入れを検討しています。

・各地の情報についても有益なものだと認識しています。

・他団体での活動報告から当団体での今後の活動にも参考になる事例情報として聞く事が出来る。

1. **改善が必要だと思われる点は何か？**

・全国会議での各地の景況報告（日銀短観）は止めちゃって、各団体の活動報告

やローカルの情報を中心に質問も交えるなど、より地域に関する情報を聞きたい。

・折角纏まった数の団体が加盟しているので必要に応じて、JAAAがバイアス的な動きをして全国会議に対して個別地域会議等として各団体とコラボしても良いのでは。

・開催時期について（特に春は連休前などで交通機関の状況も厳しいため）

・基本的な報告事項以外に、時間の制約もありますが、開催ごとに各協会に共通する課題・問題点を事前に明確にし、それに対する様々なお話やご意見をお聞きしたい。現在、当協会の最大の課題は「若年層の人材不足と高い離職率」です。

・県内景気動向は、各地ほぼ同じ傾向なので削除してもいいのでは。説明の順番は北からになっているが、北と南のテレコにしたらどうでしょう。

・開催日数・内容（特に懇親会の開催地・開催場所）の見直し

・各県の発表の時間をもっと短くしても良いのでディスカッションの場をもっと設けてほしい。その際も一部の方に偏るのではなく公平に意見を聞きたい。

・距離もあってリアル参加が難しいためオンラインを検討してはどうか？

・会議時間が長い。北から南までの発表だといたしかたない部分もありますが…。

・各地の景況報告（日銀短観）は不要かと。各エリア内容的には同様のため。

・総会前の報告会のありかた。書いたものを各地域読み上げるのは無駄である。

・各地域団体からの報告書に書いてないこと、付け加えたいことなどを1分以内等でお願いしたい。

・どういった経緯で経済動向について報告されているかは不明ですが、事業報告的な方向に進めた方が良いのではないかと感じています。

・事業報告のボリュームが少ない場合は景況でも構わないと思います。

・報告のみで拘束時間が長いこと

・情報連絡会では各地区の全般的な景気動向よりも、各地区の特徴的な具体的案件を知りたいです。

・各エリアの一般的な景況報告よりも、特別なケースや特長的なエリア情報をお聞きしたい。

・時間が延びるかもしれないがエリアの報告の都度、質問タイムがあれば・・。

・各県景況よりも、可能であれば各媒体の詳細な取組み（事業等）も教えていただきたい（各媒体の売上状況は把握できます）。

・各県業協の取組み報告も、もう少し詳細な情報があれば助かります。

・事業報告等は資料をベースに質問形式で進めたほうがより具体的に伝わると思います。

・特にございません。現状のままで良いかと思います。

1. **その他ご意見**

**・**日本の広告費は伸びているのにJAAA加盟団体の報告からはそれが感じられないのは何故か。

**・**各団体のデジタル系会社への入会アプローチが足りないのであれば、この問題の分析とそれに対するアプローチが必要なのでは。

**・**いつも開催いただきありがとうございます。

**・**懇親会で以前やったような各地の日本酒や特産品を持ちよるなどの企画があると会話が進むと思います。

**・**以前の連絡会議で皆さんからご教示頂いた「新規会員の募集法について」の

情報は大変参考になりました。

・各団体のデジタル系会社への入会アプローチが足りないのであれば、この問題の分析とそれに対するアプローチが必要なのでは。入会頂ける可能性があるのかどうか？も含めて意見交換させて頂けたら有難いです。

・JICDACに加入する必要があるデジタル広告会社に対して、所定広告団体会員社に　なることで「登録審査」が不必要になることのアピールをもっとすべき、とか。

・我々が学び、各地域へ持ち帰りもっと還元できる内容。例えば、会議の半分の時間は講師の講演や、先進事例の紹介・普段あまり見ることが出来ない施設の見学や体験など・・。

・業界の発展の為に懸案となる点についての議論や、業界として提言を行いたい内容などについての議論の時間にするなど・・。

**Ｑ２. 安定した収支バランスの下に有意義な運営を行うためどのするのが良いか？**

1. **年会費について**

**A.　　当面は現状のまま一律３万円**

11団体

**B.　　(　)万円アップして(　)万円にする**

４団体

**〈Bの意見〉**

・2万円UP→5万円。

先ずは、絶対赤字を出さないようにしなければなりません。

マイナス傾向にあるのであれば年会費を上げるべきです。

資金管理や使途については、常に正確に報告できるようにしていればよろしいと思います。

・1万円UPして4万円　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡会議規約制定の平成2年から34年が経ち、世の中の物価上昇等を鑑み、30％強の値上げはある意味順当だと考えます。

・1～２万UPして４～５万

・1万円UPして4万円

**C.　　その他意見**

３団体

**〈Cおよびその他の意見〉**

・当協会の会費は会員社の所属社員数によって年会費の金額が変わる仕組みになっています。会員社の数が圧倒的に多い東京・大阪などの協会と、数の少ない地方の協会の会費が一律というのは如何なものかと考えます。

・会議に出席するための交通費・宿泊費等も含めると、交通移動費も殆ど無くしかも広告会社のトップ企業が集結し数の多い東京も年会費が一律ということは理解できません。

・会費は適正だと思いますが、諸物価高騰の折、値上げも致し方ないのかとは思います。

・具体的にいくらくらいなら無理のない運営が可能なのか分かれば値上げも検討する余地があります。

・できれば値上げしてほしくない。

もし値上げするのであればできるだけ値上げ幅は圧縮して欲しい。

・安易に1万円増額と記載しましたが、他の協会様の会計事情を理解せずに記載しております。

・必要に応じて値上げすればいいと思います。

・実施方法、会場の見直しをして収支バランスをみて決定。

・連絡会の会場も安価な場所で行い、懇親会も会費制でよいと思います。

1. **実施方法や会場の見直しについて(いくつ選んでも可)**
2. **一回は東京、もう一回は各地域で実施**

５団体

1. **リアル１回とオンライン１回**

５団体

1. **会議室は安価な会場**

10団体

1. **懇親会(前期)はホテルより安価な会場**

10団体

1. **懇親会も会費制**

11団体

1. **その他**

・基本的に年に二回のリアル全国会議は是非続けて頂きたい。

・懇親会も含めて会場は安価なところで十分です。懇親会の会費についても割り勘で良いと思います。その他の経費削減も結構かと思います。これらを考慮した上で現状の会費収入ではどのくらい不足しそうなのかをはじき出すのが先かと思います。

・収入は会費しかありませんので、まずはこの支出に応じて会費を算出しては如何でしょうか。

・Bでリアル開催2回希望⇒行けるかどうかは別として、各業協の研修会などは見てみたい。

・オンライン実施は費用的に抑えられるので一案かと思いますが、やはり実際お会いしてお話しするのとは熱量が全く違うので、出来ればリアル開催を望みます。

・Aの持ち回り制にすると、却って負担が大きくなる懸念があります。集まりやすい東京のままでの開催を希望します。

・Aの場だと逆に全体の費用や、各広告業協会としては交通費も含めアップになる危惧を感じます。

・AからEの選択肢の中では特にありません。

・情報連絡会議は年１回として、１回は報告書の提出のみで、集計したものを各地区に配信する方法はどうでしょうか？経費も抑えられるのでは・・・。

・年に2回のリアル開催（東京）でよいと思います。地方開催も魅力的ですが、

JAAAの皆様の移動費等、経費負担も増えると思われます。

**Ｑ３. 会議全般へのご意見**

　・読みあげるだけの発表ではなく、もっと要点のみ発表してもらい発表ごとに質疑応答があっても良いかも（質疑が無い事も想定されますが）

・年に２度くらいは、対面で全国の皆様とお会いすることは最低限必要なことだと普段から感じております。

・地域の違う協会からの問い合わせや、逆に当協会から問い合わせなどの機会も多くあり、この会議を有効に活用させていただいております。

・東北６県は毎年持ち回りでブロック会議も継続して開催し今年で２６回目の開催となりました。

・会議は年１回（１０月）のリアル開催を希望。Bのオンラインは開催せず、４月は報告要旨をメールにて配布。⇒毎年東北ブロック会議（東北６県の広告業協会が各県持ち回りで、視察・講演会・懇親会を実施）を秋に開催しているので、決算時期の問題もあると思いますが、４月リアル開催１回が理想です。

・各県、加入社数等バラバラで状況が全く違いますが、各県の運営状況が知れたら自県へ反映出来るのではないかと考えます。ウチの県は規模的に同じような他県と比較して会費が安いのか？高いのか？また、実施している内容は会員社にとって有益なものなのか？を比較できればと思います。

・年2回リアルで顔を合わせて各エリアの情報をお聞き出来るのは貴重なことかと思います。ぜひご継続ください。